

ASAずうぼらだより

第60号

2016年 2月20日



60号もくじ

・研修レポート	2
・ツアーガイドレポート	3・4・5
・作業グループ活動報告	6
・ひつじ村から…	7
・ボランティアーズのみなさまへ	7
・動物園ニュース	8
・予定表(3～4月)	9・10

研修レポート (11:30~12:00)

講師：飼育技師 坂本 史弥

- 自己紹介 -

千葉県出身。入園2年目。担当動物は、メインはアフリカスイギュウ・ツキノワグマ・猛禽舎、サブとしてチンパンジー。チンパンジーはコミュニケーションが大切な動物なので、チンパンジーの作業に1番時間を割いている。大学での専攻は介在動物学という比較的新しい分野の学問で、ウマを介在しての情操教育やホースセラピーが子供や障害者に与える影響について研究していた。その他研究室では犬や猫、イルカがおり、介在活動に使われていた。動物の新しい側面、人との関わり方を見出す分野の学問である。

- アフリカスイギュウの話 -

スイギュウの分類は偶蹄目ウシ科である。同じひづめを持つ奇蹄目は約15種でウマ科、バク科、サイ科があるが、それに比べ偶蹄目はウシ科だけで46属120種にも及ぶ。ウシ科の中にはアフリカスイギュウ、いわゆる家畜としてのウシ、アジアスイギュウ、ブラックバックなどの属がある。アジアスイギュウとアフリカスイギュウは属が違う。ヒトとチンパンジーも属違い。

アジアスイギュウはアジアで家畜化され、今では北アフリカやヨーロッパでも飼育されている。用途として乳はモツアレチーズに、革や印鑑・置物としての角の利用、食用としての肉（インドでは牛は宗教上食べないが水牛は別）また牽引としての牛車、農耕用としても使われている。沖縄竹富島では観光用にも使われている。

アフリカスイギュウは体長2~3m、体重は600~900kg、サハラ砂漠以南の草原や森で雌を中心に幼獣と数十頭から数百頭の群れを作って生活しており、成雄は、繁殖期以外は群れから少し離れて周辺で暮らしている。天敵はライオンであるが、ときには返討ちにすることもある。骨格標本をみるとあばら骨はたいらで隙間なく重なっており、他の草食獣とは違っている。これは闘争の時、致命傷を負わないためと思われるが、一方でデメリットもあるのではないかと思う。日本では現在、群馬サファリと当園のみでしか飼育されていない。世界全体としては絶滅危惧種ではないが、地域的には激減している所もある。

当園では3頭のアフリカスイギュウを飼育している。その3頭を紹介すると、一番大きく2002年、群馬サファリよりきた「ヒデキ」(雄)、過去6回も出産経験のある「ハルカ」(雌)、2014年サッカーW杯ブラジル大会の年に生まれ、ブラジルの踊りサンバから名付けた「サンバ」(雄)である。群れで生活する動物であることから、過去7頭近くいたこともある。獣舎の中は単独で暮らすトラやクマとちがいで群れで暮らすスイギュウはお互いが見えて安心できるようにしている。エサには乾かした牧草チモシー(イネ科)、ルーサン(マメ科の植物でクローバーに近く和名をムラサキウマゴヤシという)のヘイキューブ、ビタミンを含んだペレット、ミネラルの入った鉱塩、季節の草としてイタリアンライグラス、青刈りのトウモロコシなどがある。

草食獣は生まれるとすぐに立って歩く。サンバは敷きわらが少なく床のコンクリートがむき出しになっていたところで足がすべり開きかけて危うく立てなくなるところであった。しかし幸い発見が早く飼育係で矯正し、無事立つことができるようになった。生まれた頃は全身が黄金色だった。スイギュウの特徴である角は生まれたときすでに角が隠れている鞘の部分が見えている。半年後には角はかなり伸び1年経つと角の真ん中がはっきりわかれ1年8か月たった今はまだ細いけれど長さでは「ヒデキ」の角よりながくなっている。

報告：S.N



ツアーガイドレポート 1月

- ・開催日時：平成28年1月10日(日) 10:30~11:30
- ・天候：くもり
- ・解説動物：夜行獣 (K.N) ⇔オオサンショウウオ (K.K)
- ・ボランティアスタッフ：M.K、T.T、T.K、M.D、Y.S、H.O、T.T、N.M、T.M、S.N、A.T(11名)
- ・参加者人数：17名(定員25名)

今回は、初めてちゅうるい館の室内でのツアーガイドでした。夜行獣グループは入口から、オオサンショウウオのグループは出口側から入りました。夜行獣グループのガイドK.Nさんから室内ではフラッシュを動物に向けないようになどの注意事項を聞いてから入場し順次ガイド。暗い室内では皆さん集中して聞いてもらえたようです。ただ、夜行獣⇒オオサンショウウオコースの人は、1階の夜行獣から出口近くのオオサンショウウオの間の2階の爬虫類はガイドなしで通過なので少々間が持てなかったようです。オオサンショウウオ⇒夜行獣グループは、逆行できないので、いったん外に出て、入り直す流れも、少々ギクシャク？オオサンショウウオは定位置でのK.Kさんのガイド、興味深いお話で、切り上げのタイミングが難しかったかもしれません。

反省会では、「寒いこの季節には、室内展示のガイドはいいと思う。」「2グループに分かれて2度しゃべるとテンションが下がる。」「懐中電灯などで、解説のパネルを照らすとガイドしやすいかも。」「一般のお客さんの見学の邪魔にならないよう工夫がいる」などの意見が出た。

ガイド10期 A.T

「夜行性動物の解説をさせていただきました」

緊張して当日を迎えましたが、たくさんの方に助けていただき、無事ガイドツアーを終えることが出来ました。お客様が真っ直ぐ私の解説を聴いてくださったことに驚きましたが、これは私に対してではなく安佐動物園に対する信頼によるものだと思えないようにしなければ、と感じました。ツアー終了後には、他のボランティアの方々から今回のガイドについて気付かれたことやガイドの楽しさ、夜行性動物の趣深さを教えていただきました。今年度はあまり参加することが出来ませんでしたが、来年度は一度ガイドする度にひとつ改善していくことを目標に、諦めず回数を重ねていく一年にしたいと思います。

ガイド12期 K.N

ガイドグループのみなさんへ

- ☆3月6日(第1日曜日) みんなでガイドの日
 - ・ツアーガイド 10:30~11:30
 - ガイド動物：Cグループゾーンの動物
 - ツキノワグマ⇒猛禽類⇒ライオン
- ☆4月3日(第1日曜日)(午前中は総会)
 - ・ツアーガイド 13:30~14:30
 - ガイド動物：Aグループゾーンの動物

ツアーガイドレポート 2月

- ・開催日時：平成28年2月7日(日) 13:30~14:15
- ・天候：晴れ
- ・解説動物：ペリカン(T.T)⇒フラミンゴ(Y.K)⇒アヌビスヒヒ(T.T)
- ・ボランティアスタッフ：K.S、J.M、K.U、Y.F、A.T、Y.M、M.D、Y.S、S.N、T.K、N.M、H.T、H.O、T.K、K.K、Y.T、T.T(17名) ・参加者人数:18名/定員25名

今回は園入口近くの動物3種、来園者が最初に出会う動物たちのツアーガイド。午後スタートに併せ、雪も残る冷たいこの日、参加者を誘うのに一苦勞。T.Tさんによるモモイロペリカンガイド。現在1羽だけのパクン♂。翼を上げると2m、体重10kg、ペリカンの中では大きい種などガイド。引き続きY.Kさんによるフラミンゴガイド。最後はT.Tさんによるアヌビスヒヒ。ナイジェリアからケニアに生息。現在♂21匹、♀23匹。人気の餌①ゆで卵(特に黄身)②バナナ③オレンジ。興味深い話、それぞれ熱心なガイドでしたが、寒さの中、参加者には実際より長く感じられたかも。

反省会では、

- ・寒かったので終了時間を伝えておいたほうがよかった。(3月実行時タイムキーパーを設定。)
 - ・動物が動くのに合わせてガイドできればやりやすい。
 - ・頭骨など、実物標本を活用したらいいのでは(ペリカン・フラミンゴ・ヒヒもある)
 - ・説明資料の絵が手描きで温かみがあってよかった。
 - ・子どもにもわかる言葉を入れるといい。
 - ・今回は移動距離が近いので問題なかったが、3月予定のクマ⇒猛禽⇒ライオンは離れているので歩きながら途中のガイドを入れるなど工夫が必要。
- などの意見がありました。季節やコースで、まだまだ色々課題が出てきそうです。

ガイド12期 T.T

「アヌビスヒヒのガイドで参加しました」

2月にアヌビスヒヒのツアーガイドをやらないかと頼まれた。正直、久しくボラ活動をしていない。言い訳はしない。スポットガイドは少し経験していた。そのときに作ったヒヒのイラスト画をボラ室へ保管していたので、直近の情報を収集し見直しをした。これでツアーガイドに耐えられるか不安であった。「ツアーガイドとは」?を調べてみると、「案内者とコミュニケーションがとれ対人関係が築けるか」・・・と難しい事が書いてあった。複数人に対して一方的な話をして「面白い、為になる」と帰ってもらえるかと思っていた。いよいよ、始まった。お客様は10人弱か?青服着たボラの人が多いなあ。不慣れたマイクを付け話し始める。少しは聞き耳を立てている顔、寒いなあという顔があった。一方通行の話でどれだけ伝わったのか、不安を抱えて進行していった。終わりの頃、餌の展示に興味深く子供達が集まってきた。そこで「ヒヒはの中で、何が一番好きかネ」と問いかけると、頭を傾げたり、答えが外れたりしていたのを見かねて、大丸さんから威勢のいい声で、テンポ良く「ハイ、お姉ちゃん、お兄ちゃん、お母さんは」と助け船を出して貰った。お客さんも私も緊張が解け、場が和み嬉しかった。

ツアーガイドの自己評価は難しい。反省してみると、お客さんが「聞いて良かった」と喜んでもらえる、話し方、展示の仕方、など今後の課題とし追求が必要だと思っている。

このたびは、ボラの皆さま、園の皆さまのご支援を頂き有難うございました。今後もよろしくご指導をお願いします。

ガイド1期 T.T

「フラミンゴのガイドで参加して」

ほんと久しぶりの安佐動物公園。昨年1回だけガイドをして以来、半年ぶりにフラミンゴの前に立ちました。今回はペリカン→フラミンゴ→ヒヒの順でツアーガイドを行うという事で私は2番目。リーダーの藤本さんから、ヘッドマイクタイプの拡声器を付けていただき、音量チェックとスピーカーの向きを合わせ、説明資料に目を通しソワソワして待機。ペリカンは機嫌が良いようで大きく羽ばたいたり、あちこち動き廻り、ちびっこ達に大サービスでしたが、我がフラミンゴたちは全員お昼寝中と言う有様。解説のバトンを受け継いでも一向に起きる様子もなく、仕方なく準備したOHPカードに従って説明をしました。特に、フラミンゴのエサの食べ方、抱卵や足の骨格の仕組み、飛べない様にする方法などは、覚えていただきたい点として少し強調して解説しました。スピーカーのお蔭で普通の声で説明が出来、ほぼ予定通り10分強の解説を行い「まあまあ出来」と自己満足して、ガイドツアー最後の「ヒヒ」にマイクをお渡ししました。終了後の反省会で、皆さんから色々なコメントをいただきましたが、中でも「子供さんにも判る言葉で」という指摘は、今回の大きな収穫でした。ありがとうございました。

ガイド10期 Y.K



作業ボラ活動報告

12月12日(土)

サツマイモ畑にネモヒラ、ビオラ植付け。
ビニールハウス施工、チェイランサス植付け
正面ゲートのハボタン、ノースポール植え替え。(参加者11名)

12月26日(土)

有志での作業です。
園全域に液肥やり。
ミニ売店横にムスカリ、オキザルス種蒔き。(参加者8名)

平成28年1月16日(土)

西園周辺、法面一帯のアジサイ剪定、雑木切り。(参加者13名)

2月6日(土)

西園内入口付近ふじ棚・ちょうやく広場周辺の雑木切り・剪定
(参加者17名)

-お知らせ-

毎年4月の休園日(木曜日)におこなっているベンチリフレッシュ作業を今年も4月7日・14日・21日(予備日)の予定でおこないます。

4月は忙しい時期ですがご協力おねがいします。

(報告者:K.S)

作業グループのみなさんへ

3月・4月の活動日のご連絡です

- ・3月5日19日(第一・三土曜日)
- ・4月2日・16日・23日(第一・三・四土曜日)
(通常の活動日)
- ・4月7日・14日・21日(第一・二・三木曜日)
(ベンチのリフレッシュ作業・21日予備日)

*3/19は平成27年度の反省と来年度の計画作業内容・園に対する意見や要望などの話し合いを予定しています。多くの皆さんの参加お待ちしております。

*4月のベンチのリフレッシュ作業日は汚れてもよい作業服で参加してください。

ひつじ村から...

*活動報告

- ・1月24日(第4日曜日) 予定していましたが、雪予報で中止。

*2・月3のひつじ村予定

- ・2月28(第4日曜日) 10:00~15:00
- ・3月27(第4日曜日) 10:00~15:00

作業内容は洗った毛を解したり、春に向けての作業開始です。

ひつじ村は、毎月第4日曜日、動物園のどこかで村開き。安佐ZOOピーちくパークで暮らすヒツジたちにもらった羊毛を、洗う、解す、染めるなど、イベントの材料準備が主な作業です。グループ問わず、興味ある方、通りすがりの見学がてらお茶だけ参加でもOK、住民登録随時受付中!

ASAZOOボランティアズのみなさまへ

- * 4月3日(日)はASAZOOボランティアズ総会です。多数ご出席お待ちしております。ガイド13期、作業12期の方も加わり いよいよ平成28年度スタートです。

◎日時 : 4月3日(日)10:00~12:00

10:00~11:00 総会

11:00~12:00 茶話会

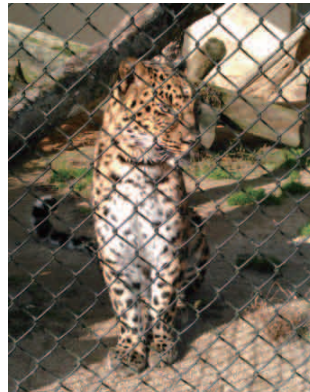
(ガイドグループは13:30~ツアーガイドを行います。)

◎場所 : 科学館2階ホール

- ・当日年会費(1,000円/年、同一家族二人目からは500円)を集めさせていただきます。

◎動物園ニュース

☆アムールヒョウのアニューイが来園しました。
新たな血統の導入を目的として福山市動物園導入した、アムールヒョウの雄のアニューイを1月9日に初公開しました。既に飼育している雌のチャイムとの繁殖を目指します。



アムールヒョウ
のアニューイ

☆レッサーパンダの「ミウ」、ユーラシアカワウソの「ユッチー」が死亡しました。
ミウは1月24日に、ユッチーは2月5日に、死因はそれぞれ腸捻転と肺炎でした。2頭とも1度の出産はしたものの、これからも繁殖が期待されていただけに残念です。



レッサーパンダのミウ



ユーラシアカワウソのユッチー

◎お手伝いをお願いします

全ボランティア対象

☆オリジナル缶バッジを作ろう！
日時=3月12日(土) 9:00~12:00
募集人数=3人程度
お客様の整理誘導など。

☆動物観察えさやり体験デー
日時=3月26日(土)、27日(日)
4月2日(土)、3日(日)
キリン: 10:30~11:30
ヤギ: 12:30~13:00
募集人数=各日3名程度
お客様の整理誘導。

☆鹿角ストラップ作り
日時=4月29日(金・祝)
9:00~15:00
募集人数=3名程度
お客様の整理誘導。



動物観察えさやり体験デー
昨年の様子



鹿角ストラップづくり
昨年の様子

ガイドボランティア対象

☆バックヤードガイド

日時=毎週土曜日 11時~、13時半~ いずれも約30分程度 募集人数=2人程度 飼育係による裏側案内の補助、参加者の整理誘導など。

※毎月最終土曜日の午前は「サンちゃんツアー」です。

平成27年度 ZOO & ポラ予定表(3月1日~3月31日)

月日	安佐ZOO			ZOOポラ	
	イベント	バックヤードガイド		解説	作業
		AM	PM		
3					
1 火					
2 水					
3 木					
4 金					
5 土	ボランティア(作業グループ)養成講座	トラ	スイギュウ		活動日
6 日	ボランティア(動物ガイドグループ)養成講座第3回			みんなでガイド	
7 月					
8 火					
9 水					
10 木					
11 金					
12 土	缶バッジづくり 広島みなとフェスタ	ヒヒ山	びーちく		
13 日	動物と消防の写生大会(予備日20日、4月9日(土)表彰式) 広島みなとフェスタ				
14 月					
15 火					
16 水					
17 木					
18 金					
19 土	親子動物教室	ソウ	調理		活動日
20 日					
21 月	動物脱出対策公開訓練				
22 火					
23 水					
24 木					
25 金					
26 土	動物観察えさやり体験デー ガンバレカーブ カーブミニ新幹線に乗ろう	サンちゃん ツアー	ラクダ		
27 日	動物観察えさやり体験デー			ひつじ村	
28 月					
29 火					
30 水					
31 木	臨時開園				

★ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合もありますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ポラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認してください。

平成28年度 ZOO & ポラ予定表(4月1日～4月30日)

月日	安佐ZOO				ZOOポラ	
	イベント *新年度につき変更の可能性大	バックヤードガイド *新年度につき変更の可能性大		解説	作業	
		AM	PM			
4月1日 金						
2日 土	動物観察えさやり体験デー	びーちく	クマor 夜行獣		活動日	
3日 日	動物観察えさやり体験デー			平成28年度総会		
4月						
5日 火						
6日 水						
7日 木					ベンチ塗装	
8日 金						
9日 土	動物と消防の写生大会入賞者表彰式(写生大会は25年度)	第2サイ	ライオン			
10日 日	アフリカゾウの一日警察署長(交通安全週間6日～15日) 動物愛好会例会					
11月						
12日 火						
13日 水						
14日 木					ベンチ塗装	
15日 金						
16日 土		トラ	スイギュウ		活動日	
17日 日	飼育の日イベント 動物記念日スタンプラリー(3つ以上の記念日に参加してスタンプを集めると記念品贈呈)					
18月						
19日 火						
20日 水						
21日 木					(予備日) ベンチ塗装	
22日 金						
23日 土	ダルマガエルの目覚め観察会	ヒヒ山	キリン			
24日 日	第30回動物写真コンクール 入賞者表彰式			ひつじ村		
25月						
26日 火						
27日 水						
28日 木						
29日 金	鹿角ストラップ作り					
30日 土		サンちゃん ツアー	調理			

★ この予定は「ずうばらだより」発送時の予定です。変更される場合も有りますので、活動時などには確認してください。

★ 作業ポラの作業内容については天候等で変更されることもあります。詳しくはその都度確認ください。